

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 ダイニック株式会社

コード番号 3551 URL <http://www.dynic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 細田 敏夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 卯野 明

TEL 03-5402-3132

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	9,086	△18.4	108	△70.2	69	△77.6	69	△36.6
21年3月期第1四半期	11,135	—	364	—	308	—	109	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1.63	—
21年3月期第1四半期	2.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	48,439	11,119	22.9	262.11
21年3月期	47,321	10,514	22.2	247.84

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 11,115百万円 21年3月期 10,511百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	4.00	4.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	18,500	△18.3	300	△54.2	250	△54.8	200	△7.2	4.72
連結累計期間	38,000	△12.1	800	△31.3	700	△24.7	450	△19.1	10.61

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 42,523,735株 21年3月期 42,523,735株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 118,109株 21年3月期 115,480株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 42,405,905株 21年3月期第1四半期 42,420,180株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成21年4月1日から平成21年6月30日）におけるわが国経済は、米国に端を発した金融危機の影響を大きく受け、企業収益の落ち込みや雇用情勢が一段と悪化しており、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、経費圧縮をはじめ引き続き収益改善への取り組みを進めてまいりましたが、プリンターリボンをはじめ、車両用途や住宅関連などの受注減少により減収となりました。

その結果、売上高は9,086百万円（前年同四半期比18.4%減）、営業利益は108百万円（前年同四半期比70.2%減）、経常利益は69百万円（前年同四半期比77.6%減）、四半期純利益は69百万円（前年同四半期比36.6%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

当社グループは、出版・情報関連事業（主としてブッククロス、文具紙工品、プリンターリボン、食品包材等の製造販売）および生活・工業用途関連事業（主としてカーペット、壁装材、自動車用内装材、フィルター、接着芯地および医療用パップ剤用フィルム加工等の製造販売）において事業を営んでおります。なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

出版・情報関連事業

出版・文具紙製品関連部門ではビニールペーパーやオレフィンフィルム等の文具用製品は微減で推移したものの、書籍出版表紙材においては減少しました。

情報関連部門でも主力のプリンターリボンのみならず、印刷用途フィルムも減少しました。食品包材、蓋材においては、海外での受注が増え、比較的堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は4,593百万円（前年同四半期比18.6%減）、営業利益は221百万円（前年同四半期比37.6%減）となりました。

生活・工業用途関連事業

インテリア・住宅関連部門では、業界低迷により、壁装材、床材とも減少しました。

車両・工業用途関連部門では、機能性不織布フィルターは比較的堅調に推移したものの、車両用不織布やレザー製品は減少しました。

ファンシー商品・その他の部門では、食品鮮度保持材が堅調に推移したものの、主力のファンシー商品は個人消費の低迷などにより減少しました。

当セグメントの売上高は4,639百万円（前年同四半期比18.4%減）、営業利益は141百万円（前年同四半期比22.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,118百万円増加し、48,439百万円となりました。これは主に流動資産の現金及び預金が1,029百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して514百万円増加し、37,321百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が314百万円減少し、長期借入金が828百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して605百万円増加し、11,119百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が473百万円、為替換算調整勘定が232百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

キャッシュ・フローについては以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、前第1四半期連結会計期間の1,378百万円の支出に対し当第1四半期連結会計期間は605百万円の収入となりました。これは、主に需要の減少による売上債権の減少、在庫調整によるたな卸資産及び仕入債務の減少等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結会計期間の249百万円の支出に対し当第1四半期連結会計期間は173百万円と76百万円の支出の減少となりました。これは、主に投資有価証券の売却による収入の増加に対し、当第1四半期連結会計期間に定期預金の預入が行われたことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結会計期間の1,675百万円の支出に対し当第1四半期連結会計期間は439百万円と1,236百万円の収入の減少となりました。これは主に前第1四半期連結会計期間に短期借入金の純増加2,590百万円及び長期借入金の返済660百万円に対して、当第1四半期連結会計期間では短期借入金の返済による純減少314百万円及び長期借入による純増加928百万円と資金調達の安定化を行った結果によるものです。

この結果当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,916百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における業績の進捗状況等を勘案し、平成21年5月20日に公表いたしました平成22年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想（連結・個別）を修正しております。詳しくは、本日別途公表いたしました「平成22年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

①税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）が平成21年4月1日以降開始する連結会計年度において最初に実施される企業結合及び事業分離等から適用することができるようになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,440,392	2,411,786
受取手形及び売掛金	12,297,583	12,530,486
商品及び製品	3,601,331	3,716,989
仕掛品	958,207	934,022
原材料及び貯蔵品	2,053,064	2,070,042
繰延税金資産	702,795	721,460
その他	799,647	529,874
貸倒引当金	△115,668	△102,193
流動資産合計	23,737,351	22,812,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,974,987	13,953,259
減価償却累計額	△9,229,353	△9,760,545
建物及び構築物(純額)	3,745,634	4,192,714
機械装置及び運搬具	22,022,180	21,795,236
減価償却累計額	△19,814,450	△19,549,973
機械装置及び運搬具(純額)	2,207,730	2,245,263
工具、器具及び備品	2,742,262	2,706,452
減価償却累計額	△2,487,540	△2,451,503
工具、器具及び備品(純額)	254,722	254,949
土地	10,848,003	11,745,122
リース資産	85,038	53,928
減価償却累計額	△27,367	△21,020
リース資産(純額)	57,671	32,908
建設仮勘定	484,847	367,634
有形固定資産合計	17,598,607	18,838,590
無形固定資産		
のれん	11,929	14,098
その他	36,686	34,514
無形固定資産合計	48,615	48,612
投資その他の資産		
投資有価証券	4,588,259	4,386,597
長期貸付金	49,578	50,778
繰延税金資産	234,653	370,177
その他	2,294,208	924,432
貸倒引当金	△111,780	△110,642
投資その他の資産合計	7,054,918	5,621,342
固定資産合計	24,702,140	24,508,544
資産合計	48,439,491	47,321,010

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,340,639	7,654,840
短期借入金	11,517,399	11,545,028
リース債務	16,618	9,947
未払法人税等	21,562	42,447
貸借取引担保金	1,541,829	1,541,829
賞与引当金	234,323	245,635
役員賞与引当金	15,986	11,610
設備関係支払手形	268,630	358,488
繰延税金負債	832	832
その他	958,396	831,975
流動負債合計	21,916,214	22,242,631
固定負債		
長期借入金	9,051,275	8,223,748
リース債務	48,141	29,077
繰延税金負債	59,169	54,214
再評価に係る繰延税金負債	1,716,609	1,716,609
退職給付引当金	3,977,475	3,972,975
役員退職慰労引当金	211,039	224,004
環境対策引当金	78,600	78,600
その他	262,236	265,055
固定負債合計	15,404,544	14,564,282
負債合計	37,320,758	36,806,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,795,651	5,795,651
資本剰余金	944,696	944,696
利益剰余金	3,242,629	3,343,019
自己株式	△27,207	△26,876
株主資本合計	9,955,769	10,056,490
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△354,895	△827,760
土地再評価差額金	2,386,364	2,386,364
為替換算調整勘定	△872,295	△1,104,563
評価・換算差額等合計	1,159,174	454,041
少数株主持分	3,790	3,566
純資産合計	11,118,733	10,514,097
負債純資産合計	48,439,491	47,321,010

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	11,134,668	9,085,884
売上原価	8,859,277	7,268,069
売上総利益	2,275,391	1,817,815
販売費及び一般管理費	1,911,105	1,709,399
営業利益	364,286	108,416
営業外収益		
受取利息	3,913	3,731
受取配当金	41,288	37,449
受取賃貸料	48,438	48,169
雑収入	40,040	34,263
営業外収益合計	133,679	123,612
営業外費用		
支払利息	72,037	95,598
為替差損	48,020	820
雑損失	69,559	66,531
営業外費用合計	189,616	162,949
経常利益	308,349	69,079
特別利益		
固定資産売却益	—	304
投資有価証券売却益	—	47,695
負ののれん発生益	—	16,386
特別利益合計	—	64,385
特別損失		
固定資産処分損	316	1,361
投資有価証券評価損	59,019	—
特別損失合計	59,335	1,361
税金等調整前四半期純利益	249,014	132,103
法人税等	140,152	62,806
少数株主損益調整前四半期純利益	—	69,297
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△331	54
四半期純利益	109,193	69,243

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	249,014	132,103
減価償却費	256,973	251,816
その他の償却額	757	833
のれん償却額	1,831	2,169
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△38,934	4,376
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,757	△2,784
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△31,167	△12,965
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△596	4,087
受取利息及び受取配当金	△45,201	△41,180
支払利息	72,037	95,598
為替差損益(△は益)	1,950	1,738
持分法による投資損益(△は益)	△9,154	△1,100
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△47,695
投資有価証券評価損益(△は益)	59,019	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△304
有形固定資産処分損益(△は益)	316	1,361
負ののれん発生益	—	△16,386
売上債権の増減額(△は増加)	△1,426,084	572,927
たな卸資産の増減額(△は増加)	△342,297	257,839
仕入債務の増減額(△は減少)	170,282	△495,402
未払消費税等の増減額(△は減少)	△13,183	32,282
その他	△8,500	△73,020
小計	△1,109,694	666,293
利息及び配当金の受取額	45,367	41,088
利息の支払額	△57,657	△80,963
法人税等の支払額	△256,361	△21,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,378,345	604,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△234,464	△304,855
有形固定資産の売却による収入	121	1,000
投資有価証券の取得による支出	△4,527	△25,688
投資有価証券の売却による収入	98	240,590
貸付けによる支出	—	△500
貸付金の回収による収入	2,499	1,200
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	12,781
その他	△12,531	2,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△248,804	△172,797

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,590,378	△314,129
長期借入れによる収入	—	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△659,513	△772,135
リース債務の返済による支出	—	△4,905
自己株式の取得による支出	△921	△331
配当金の支払額	△254,534	△169,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,675,410	438,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89,246	47,345
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△40,985	918,106
現金及び現金同等物の期首残高	2,266,330	1,998,086
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,225,345	2,916,192

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	出版・情報 関連 (千円)	生活・ 工業用途関連 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,584,556	5,550,112	11,134,668	—	11,134,668
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	61,407	132,961	194,368	(194,368)	—
計	5,645,963	5,683,073	11,329,036	(194,368)	11,134,668
営業利益	355,160	182,798	537,958	(173,672)	364,286

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、市場別に「出版・情報関連」、「生活・工業用途関連」事業としてセグメントしております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	売上区分	主要取扱商品
出版・情報関連	出版・文具紙製品	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、文具紙工品、パッケージ用化粧クロス
	情報関連	銀行通帳用クロス、コンピューターリボン、フィルムコーティング品、名刺プリンター、表示ラベル用素材、磁気関連製品、有機EL用水分除去シート
	その他	容器密封用アルミ箔、複合フィルム
生活・工業用途関連	インテリア・住宅関連	カーペット、壁装材、天井材、ブラインド
	車両工業用途	自動車内装用不織布・カーペット、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、フィルター
	衣料用途	接着芯地、不織布
	ファンシー商品他	キャラクター商品、縫製加工・成型加工・ウェルダー加工等の各種加工品、耐久性折目加工材、ノウハウの販売、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤
	運送、製造・加工他	商品等運送業、製品製造・加工

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	出版・情報 関連 (千円)	生活・ 工業用途関連 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,554,484	4,531,400	9,085,884	—	9,085,884
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,620	107,758	146,378	(146,378)	—
計	4,593,104	4,639,158	9,232,262	(146,378)	9,085,884
営業利益	221,497	141,272	362,769	(254,353)	108,416

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、市場別に「出版・情報関連」、「生活・工業用途関連」事業としてセグメントしております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	売上区分	主要取扱商品
出版・情報関連	出版・文具紙製品	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、文具紙工品、パッケージ用化粧クロス
	情報関連	銀行通帳用クロス、コンピューターリボン、フィルムコーティング品、名刺プリンター、表示ラベル用素材、磁気関連製品、有機EL用水分除去シート
	その他	容器密封用アルミ箔、複合フィルム
生活・工業用途関連	インテリア・住宅関連	カーペット、壁装材、天井材、ブラインド
	車両工業用途	自動車内装用不織布・カーペット、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、フィルター
	衣料用途	接着芯地、不織布
	ファンシー商品他	キャラクター商品、縫製加工・成型加工・ウェルダー加工等の各種加工品、耐久性折目加工材、ノウハウの販売、ポップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤
	運送、製造・加工他	商品等運送業、製品製造・加工

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,264,666	1,870,002	11,134,668	—	11,134,668
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	555,462	410,312	965,774	(965,774)	—
計	9,820,128	2,280,314	12,100,442	(965,774)	11,134,668
営業利益	491,969	47,071	539,040	(174,754)	364,286

(注) 1. 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

ただし、各区分に属する売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計の10%未満のため、「その他の地域」として一括して記載しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

その他の地域 北米・・・・・・・・アメリカ
 ヨーロッパ・・・・・・・・イギリス
 中国・・・・・・・・中国
 東南アジア・・・・・・・・香港・台湾・シンガポール

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,618,402	1,467,482	9,085,884	—	9,085,884
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	407,245	340,059	747,304	(747,304)	—
計	8,025,647	1,807,541	9,833,188	(747,304)	9,085,884
営業利益	368,441	7,900	376,341	(267,925)	108,416

(注) 1. 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

ただし、各区分に属する売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計の10%未満のため、「その他の地域」として一括して記載しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

その他の地域 北米・・・・・・・・アメリカ
 ヨーロッパ・・・・・・・・イギリス
 中国・・・・・・・・中国
 東南アジア・・・・・・・・香港・台湾・シンガポール

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	東南アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	630,867	1,418,397	2,049,264
II 連結売上高(千円)	—	—	11,134,668
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	5.7	12.7	18.4

- (注) 1. 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 東南アジア・・・香港・台湾・シンガポール
 その他の地域・・・アメリカ・イギリス・中国
 3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	東南アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	491,245	1,028,269	1,519,514
II 連結売上高(千円)	—	—	9,085,884
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	5.4	11.3	16.7

- (注) 1. 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 東南アジア・・・香港・台湾・シンガポール
 その他の地域・・・アメリカ・イギリス・中国
 3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。